

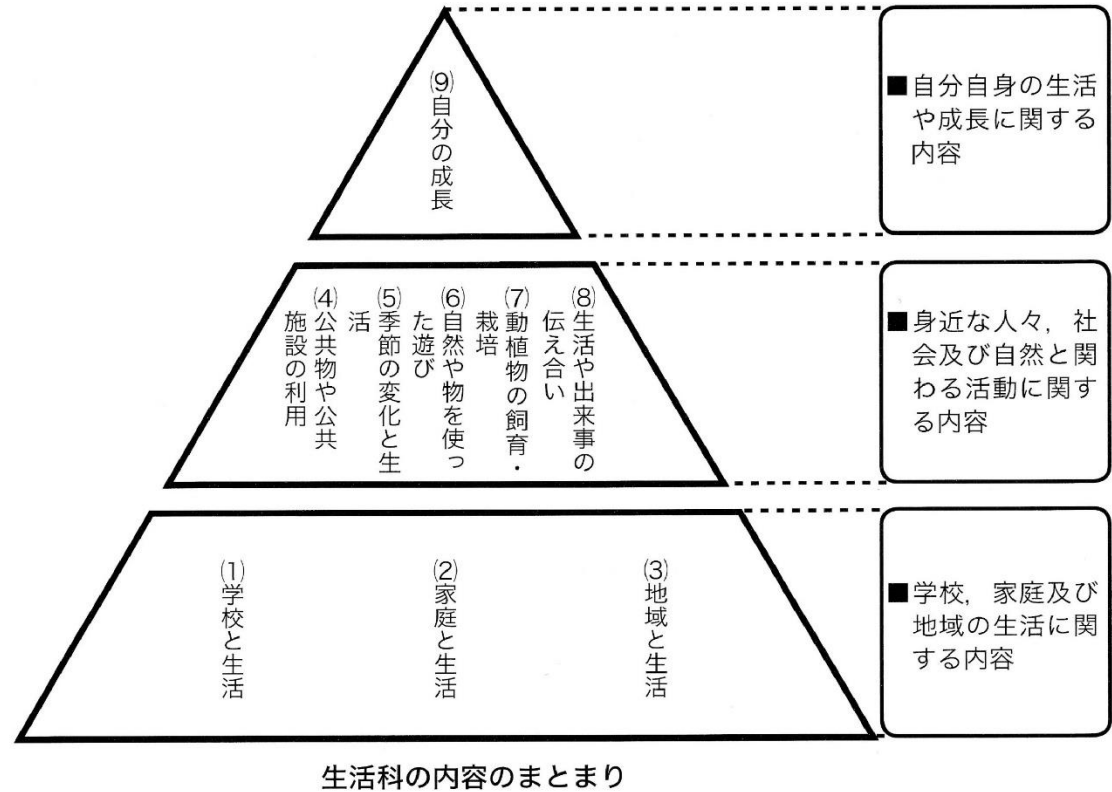
生活 内容の階層性

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
	学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然や物を使った遊び	動植物の飼育・栽培	生活や出来事の伝え合い	自分の成長	
1年生内容										
がっこう だいすき	20時間									1
★栽培継続単元 「きれいにさいてね」	8時間									1
なつが やって きた	8時間									3
いきものと なかよし	6時間									1
たのしい あき いっぱい	21時間									2
じぶんで できるよ	12時間									1
ふゆを たのしもう	9時間									3
もう すぐ 2ねんせい	18時間									2

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	
2年生内容										
春だ 今日から 2年生	6時間									2
★栽培継続単元 ぐんぐん そだて わたしの 野さい	10時間									1
どきどき わくわく まちたんけん	10時間									1
生きもの なかよし 大作せん	10時間									1
うごく うごく わたしの おもちや	12時間									1
みんなで つかう まちの しせつ	6時間									1
もっと なかよし まちたんけん	12時間									1
つたわる 広がる わたしの 生活	12時間									3
あしたへ ジャンプ	27時間									1

(2) 内容の階層性

九つの各内容の関係は、下図のような階層の形で表すことができる。



それぞれのまとめりに上下関係があるわけではなく、また、内容の大きなまとめり同士が分断されているものでもない。また、学習の順序性を規定しているものでもない。
今回の改訂で、九つの内容を、学年の目標に即して[学校、家庭及び地域の生活に関する内容]、[身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容]、[自分自身の生活や成長に関する内容]があることを示しつつ、内容を枝分けせずに、(1)から(9)までの通し番号で示しているのもこのためである。

1年生内容

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然や物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事の伝え合い	自分の成長
がっこう だいすき	20時間									
★栽培継続单元 「きれいにさいてね」	8時間									
なつが やって きた	8時間									
いきものと なかよし	6時間									
たのしい あき いっぱい	21時間									
じぶんで できるよ	12時間									
ふゆを たのしもう	9時間									
もう すぐ 2ねんせい	18時間									

1
1
3
1
2
1
3
2

2年生内容

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
	学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然や物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事の伝え合い	自分の成長
春だ 今日から 2年生 6時間									
★栽培継続単元 10時間 ぐんぐん そだて わたしの 野さい									
どきどき わくわく まちたんけん 10時間									
生きもの なかよし 大作せん 10時間									
うごく うごく わたしの おもちゃ 12時間									
みんなで つかう まちの しせつ 6時間									
もっと なかよし まちたんけん 12時間									
つたわる 広がる わたしの 生活 12時間									
あしたへ ジャンプ 27時間									

2

1

1

1

1

1

1

3

1

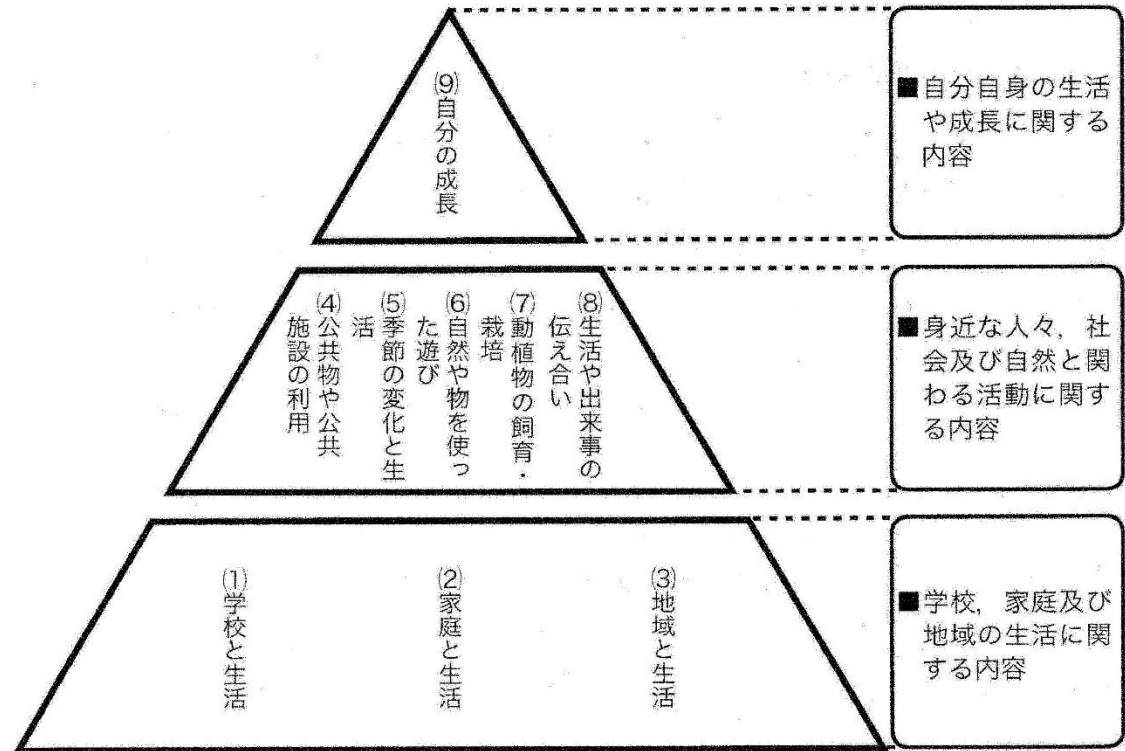
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然や物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事(伝え合い)	自分の成長
1年生内容										
がっこう だいすき	20時間	○								
★栽培継続単元 「きれいにさいてね」	8時間							○		
なつが やって きた	8時間				○	○	○			
いきものと なかよし	6時間							○		
たのしい あき いっぱい	21時間					○	○			
じぶんで できるよ	12時間		○							
ふゆを たのしもう	9時間				○	○	○			
もう すぐ 2ねんせい	18時間								○	○

東京書籍HPから

		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
		学校と生活	家庭と生活	地域と生活	公共物や公共施設の利用	季節の変化と生活	自然や物を使った遊び	動物の飼育・栽培	生活や出来事(伝え合い)	自分の成長
2年生内容										
春だ 今日から 2年生	6時間			○		○				
★栽培継続単元 ぐんぐん そだて わたしの 野さい	10時間							○		
どきどき わくわく まちたんけん	10時間			○						
生きもの なかよし 大作せん	10時間							○		
うごく うごく わたしの おもちゃ	12時間						○			
みんなで つかう まちの しせつ	6時間				○					
もっと なかよし まちたんけん	12時間			○						
つたわる 広がる わたしの 生活	12時間			○	○				○	
あしたへ ジャンプ	27時間									○

(2) 内容の階層性

九つの各内容の関係は、下図のような階層の形で表すことができる。



生活科の内容のまとめ

それぞれのまとめに上下関係があるわけではなく、また、内容の大きなまとめ同士が分断されているものでもない。また、学習の順序性を規定しているものでもない。

今回の改訂で、九つの内容を、学年の目標に即して「学校、家庭及び地域の生活に関する内容」、「身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容」、「自分自身の生活や成長に関する内容」があることを示しつつ、内容を枝分けせず、(1)から(9)までの通し番号で示しているのもこのためである。

(3) 第2の内容の(7)については、2学年間にわたって取り扱うものとし、動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行うようにすること。

9項目の内容を第1学年と第2学年にどのように配置するかは、本解説第4章1の(2)で述べたように、児童の発達段階や特性や成長を踏まえて、2年間を見通して活動を設定することとしている。それは、各学校の判断に委ねられているが、第2の内容の(7)については、従前より2学年間にわたって取り扱うこととしている。

2学年間にわたって取り扱うとは、第1学年でも第2学年でも取り扱うということである。これは、飼育・栽培という活動の特性から1回限りの活動で終わるのではなく、経験を生かし、新たな目当てをもって、繰り返したり長期にわたったりして活動することを意図したものである。

2学年間にわたって取り扱う場合、その取扱い方を創意工夫する必要がある。

例えば、第1学年では飼育、第2学年では栽培（又はその逆）を行う方法や、第1学年でも第2学年でも飼育と栽培の両方を行う方法がある。また、例えば、小動物を育てながら一緒に野菜などを栽培して、その一部を小動物のえさにする方法もある。栽培では第1学年の春から秋にかけて行い、引き続いて第2学年の春にかけて行う方法も考えられる。各学校において、児童の実態、飼育・栽培に関する環境、活動のねらいに応じて創意工夫することが求められる。

2学年間にわたっての継続的な飼育・栽培を行うことが特に強調されたのは、前回の改訂からである。これは、自然事象に接する機会が乏しくなっていることや生命の尊さを実感する体験が少なくなっているという児童の置かれた現状を踏まえたものであるが、今回の改訂においても、引き続き充実を図ることが必要である。**動物や植物への関わり方が深まるよう継続的な飼育、栽培を行う**とは、一時的・単発的な動植物との関わりにとどまるのではなく、例えば、季節を越えた飼育活動で成長を見守ること、開花や結実までの一連の栽培活動を行うことなどである。そのような活動を通してこそ、動植物どちらの場合も生命の尊さを実感することができると考えられる。児童は、長期にわたる飼育・栽培を行うことで、成長や変化、生命の尊さや育て方など様々なことに気付き、親身になって世話ができるようになるのである。